

## 島根県三瓶山で確認されたチャイロスズメバチ

皆木 宏明\*

### Record of *Vespa dybowskii* Andre (Vespoidea, Vespidae) found Mt. Sanbe from Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

チャイロスズメバチ *Vespa dybowskii* はハチ目スズメバチ科の1種で、社会寄生性の習性をもつ特異なスズメバチである(松浦, 1988)。かつては東日本にのみ分布する種とされていたが、近年西日本に分布が拡大しており、島根県では2017年に県東部の島根県雲南市大東町の民家で1個体採集されたのが最初の記録となっている(皆木, 2018)。島根県は広島県と並び国内分布の西限域であるため(坂本, 2014; 皆木, 2015)、県内の分布域が注目されていた。

今回、島根県中央部の大田市三瓶山において本種が1個体確認されたので報告する(写真)。

採集記録 2018年7月14日 1ex.  
採集場所 島根県大田市三瓶町  
三瓶山北の原キャンプ場



写真 採集されたチャイロスズメバチ

確認場所は三瓶山中腹の標高570mに位置する三瓶山北の原キャンプ場(島根県大田市三瓶町多根1121-1)である。2018年7月14日にキャンプ場の利用者が、場内にあるケビンの室内においてスズメバチの生体を1個体発見し、叩いて駆除した。同日キャンプ場職員がその死骸を三瓶自然館に持ち込み、筆者が種類を確認した。採集された個体は、駆除された際に胸部と腹部・翅の一部が破損していた。

チャイロスズメバチは2017年に雲南市大東町で確認されたのが島根県での最初の記録であり、今回の記録は県内2例目の記録となる。2017年の確認地点と今回の三瓶山での確認地点とは南西方向に直線で約36km離れており、県内では最も西側の記録となる。これまでの国内での最西端の記録は、広島県北広島町の臥龍山(坂本, 2014)となっている。

なお、採集した個体は三瓶自然館で標本化し保管している。

### 引用文献

- 松浦 誠(1988)スズメバチはなぜ刺すか。北海道大学図書刊行会.P.291  
皆木宏明(2015)広島県庄原市で採集したチャイロスズメバチの記録。島根県立三瓶自然館研究報告第13号。71-72  
皆木宏明(2018)島根県で初確認されたチャイロスズメバチについて。島根県立三瓶自然館研究報告第16号。67-68  
坂本 充(2014)北広島町の昆虫類。北広島町の自然。北広島町教育委員会発行 P.353-500

\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan